

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
理科	地学基礎	3	一斉	文系	3

教科書（発行所）	高等学校 地学基礎（改訂版）（啓林館）
教科書以外の教材	1 高等学校地学基礎授業ノート（啓林館） 2 セミナー地学基礎（第一学習社） 3 チェック&演習地学基礎（数研出版）

目 標	1 地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことができるようにする。 2 科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。			
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	第1部 地球の構造と活動 第1章 地球の構造 第2章 活動する地球	地球の概観 地球内部の構造 プレートテクトニクスと地球の活動 地震 火山活動	期末考查
		第2部 大気と海洋 第1章 大気の構造 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気	大気圏 対流圏における水と気象 地球のエネルギー収支 大気の大循環 海水の循環 冬春夏秋の日本の天気	
	2 学期	第3部 移り変わる地球 第1章 宇宙と地球 第2章 地球史の読み方 第3章 地球と生命の進化	宇宙の誕生 太陽系の誕生 地層の形成 地層の読み方 地質年代の区分 先カンブリア時代 顕生代	中間考查
		第4部 自然との共生 地学基礎の総復習	地球環境と私たち 地震災害・火山災害 気象災害 災害と社会 地球環境の変化 共通テスト対策	期末考查
3 学期	地学基礎の総復習	共通テスト対策		
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。 2 用語を単独で「暗記」するのではなく自然現象を全体的な流れの中で「記憶」していく。 3 購入した教科書準拠の授業ノートに書き込む方式をとる。余白には、黒板に書かれないこともメモすること。 4 現象を分析するときは必要に応じて図を描いて可視化して取り組むこと。 5 予習は教科書を一読することにより、授業に集中し、復習をしっかりと行うこと。 6 既学習の内容は、考查において主体的に学習に取り組む態度として一定量の出題をして評価対象とします。			

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	使える	地学的な現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら地学的な現象について関心をもち、意欲的に探究しようとする態度を持っている。さらに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
	できる	地学的な現象の中に課題を見だし、解決するための実験計画を立て、その結果を予測している。自らの予測について検証している。	地学的な現象の中に探究活動の課題を探ろうとする。 地学的な現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりする。
	分かる	知識・技能を活用して、課題を解決するための方法に気づき、説明している。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において、粘り強く学習に取り組んでいる。
評価の方法	授業時の観察、定期考查、課題確認テスト（小テスト）、課題レポート、週課題、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		